

第3節 シティプロモーション課

〔総括概要〕

シティプロモーション課の主な分掌事務は、シティプロモーション関係、マスコットキャラクターの活用及び広報広聴関係業務である。

シティプロモーション関係業務については、栃木市のシティプロモーションを推進するため、平成29年度から10年間を見据えた基本構想を策定するとともに、3年間の行動計画を策定した。また、市を広く周知するため、PR用のグッズ制作を行った。

栃木市マスコットキャラクター活用業務については、平成26年4月5日に誕生した栃木市マスコットキャラクターとち介を広くPRすることで、市民の一体感の醸成や栃木市の知名度の向上に努めた。とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認を行ったほか、前年に引き続き「ゆるキャラグランプリ」に参加し、1,421キャラクター中4位を獲得した。また、関連イベントである「ゆるキャラ for チルドレン」ではグランプリを獲得した。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいA3判で、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックによる広報を行った。さらに、平成27年11月に公設民営方式として開局した栃木市コミュニティFM「FMくらら857」を活用し、身近な地域情報や災害・防災情報の配信を行った。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市長へのアイデア直通便などを実施したほか、若者の意見を施策に反映させるため市内高校生と市長が意見交換をする高校生夢トークを開催し、市政に関する意見、提案を広く求めた。

シティプロモーション係

1 シティプロモーション関係

(1) シティプロモーション事業

栃木市シティプロモーションの基本構想（H29～H38年度の10年間）となる「Tochigi City Promotion Design（トチギ シティ プロモーション デザイン）」及び行動計画（H29～H31年度の3年間）となる「Tochigi City Promotion Creation 1st（トチギ シティ プロモーション クリエイション ファースト）」を策定した。

栃木市をPRするため、「とち介」のデザインを用いた栃木市のPR用グッズを制作した。

- ・Tochigi City Promotion Design（A4変型判 36ページ、1,000部）
- ・Tochigi City Promotion Design（概要版）（A4変型判 12ページ、5,000部）

・Tochigi City Promotion Creation 1st (A4変型判 20ページ、3,000部)

(2) 栃木市ふるさと大使

本市の魅力を広く効果的に情報発信することと、本市の知名度及びイメージの向上並びに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、栃木市にゆかりのある方に委嘱している。

・栃木市ふるさと大使 14人(石川恋氏、菊池優氏、古今亭志ん橋氏、澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏、橋本章氏、冬木れい氏、古川登志夫氏、山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏)

2団体(栃木ウーヴァフットボールクラブ、MAGIC OF LiFE)

2 マスコットキャラクター活用関係

(1) とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、市内外の地域イベント等に派遣し、とち介自身のPRと共に市民一体感の醸成に努めた。

・派遣回数 466回 (市内402回 市外64回) 月平均 約39回

(2) デザイン申請・承認手続

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認を行った。

・承認件数 203件 (販売品89件 非売品114件)

・商品 キーホルダー、缶バッチ、ストラップ、カステラ、石像、衣類等

(3) 「ゆるキャラグランプリ2016」への参加

全国からエントリーしたキャラクター1,421体が参加して人気投票を行う、「ゆるキャラグランプリ

2016」に参加し、前々回(8位)、前回(6位)を上回る第4位を獲得した。また、関連イベントである「ゆるキャラforチルドレン」では、グランプリを獲得した。

・インターネット投票期間 7月22日(金)～10月24日(月)

・決戦投票開催期間 11月5日(土)～11月6日(日)

・決戦投票開催地 愛媛県松山市 城山公園

・結果 1,421キャラクター中第4位(県内1位) 獲得票数 1,885,649票

ゆるキャラforチルドレン グランプリ

・「とち介の応援集会」開催 7月16日(土)

・「とち介のゆるキャラグランプリ2016結果報告会」開催 11月8日(火)

(4) とち介関連のイベント開催

とち介に関連する各種イベントを開催した。

・とち介のお誕生会2016 4月9日(土) 栃木市総合運動公園総合体育館
来場者数 約2,400人

・とち介との夏休み♪～2016夏の思い出～フォトコンテスト

8月1日(月)～8月31日(水) 応募作品34点

・とち介絵はがきコンテスト～“栃木愛”で目指せ全国NO.1～

9月1日(木)～10月3日(月) 応募作品72点

- ・とち介のクリスマス会 12月10日（土）、17日（土）
 栃木市役所本庁舎1階市民スペース 来場者数 延べ約200人
- (5) とち介公式SNSによる情報発信
 とち介目線のゆるやかな言葉で、栃木市の情報等を継続的に発信した。
 - ・Twitter フォロワー数 4,456人
 - ・Facebook いいね！件数 1,550件
 - ・Instagram フォロワー数 1,230人
- (6) マスコットキャラクター応援基金
 マスコットキャラクター活用推進の財源として、栃木市ふるさと応援寄附（ふるさと納税）の「マスコットキャラクター活動支援事業」コースにて寄附を募った。
 - ・受入件数／受入額 75件 2,257,000円

広報広聴係

1 広報関係

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

ア 広報とちぎ

- ・発行部数 5月号～4月号 毎月1回 53,300部
- ・仕様 A3判2つ折り

号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色
73(5月号)	4	12	79(11月号)	4	12
74(6月号)	4	12	80(12月号)	4	12
75(7月号)	4	12	81(1月号)	4	12
76(8月号)	4	12	82(2月号)	4	12
77(9月号)	4	12	83(3月号)	4	12
78(10月号)	4	12	84(4月号)	4	12

イ 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 28部
- ・仕様 B5判点字用紙（約45ページ）

ウ 声の広報とちぎ

朗読ボランティア「あかり」及び朗読グループ「いずみ」の協力を得て発行

- ・発行回数 毎月1回 年間12回
- ・発行時期 広報とちぎ発行日～数日後（カセット・CD）

(2) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極

的に市内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数（ページビュー数）5,217,714件

(3) SNSを活用した広報

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報を行うことで、多様な媒体を通じての情報発信強化に努めた。

投稿内容は、行政情報、観光情報、災害情報等。

- ・投稿数 フェイスブック601件 ツイッター1,226件

(4) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・栃木市長通信

広報とちぎの「市長通信」のケーブルテレビ版。市政情報等を市長から伝える。5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（1日5回程度放送）

- ・生活文字情報

文字スクロールによる生活情報で、1日8回、毎日放送した。

- ・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月・木曜日に1分前後放送した。

- ・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」

10分番組で、1月1日（日）～3日（火）に放送した。

イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、(株)とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「2017年 わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（日）、2日（月）に放送した。

ウ 栃木放送（CRT）

市政のPRを行うため、(株)栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日（日）、2日（月）に放送した。

エ エフエム栃木

市政のPRを行うため、(株)エフエム栃木に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

- ・新春特別番組「新春市長インタビュー」

10分番組で、1月11日（水）に放送した。

(5) コミュニティFM

栃木市コミュニティFM「FMくらら857」を活用し、災害情報・防災情報の配信や、身近な地域情報の発信することで、市民が豊かで安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

ア 市の広報番組

- ・「とち介PのHAPPY TOWN」 平日の11時～11時54分
- ・インフォーマーシャル 市からのお知らせを生放送で、毎日4回放送した。
- ・CM 市からのお知らせを録音し、毎日6回放送した。

イ 災害放送

- ・災害発生時に備えるため、毎週木曜日11時に緊急割込み放送の試験放送を行った。

(6) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

- ・定例記者会見 毎月1回
- ・予算記者会見 年1回
- ・臨時記者会見 随時(2回)

イ 市政情報の提供 (FAXにより随時)

- ・情報提供件数 484件

(7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員(庶務担当係長)を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

- ・実施日 3月21日(火) 参加者64人(広報活動推進員)
- ・テーマ「栃木市の現状とシティプロモーションについて」
- ・講師 (株) ジャパンインターナショナル総合研究所 佐藤 晴歌氏

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見、提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図った。

・栃木地域

実施日	出席者(人)	会場
8月1日(月)	82	第5地区コミュニティセンター
8月4日(木)	102	皆川公民館
8月9日(火)	90	第4地区コミュニティセンター
8月10日(水)	123	寺尾公民館
8月18日(木)	101	国府公民館
9月8日(木)	89	第6地区コミュニティセンター

・大平地域

実施日	出席者(人)	会場
10月3日(月)	53	大平公民館
10月6日(木)	87	大平東地区公民館

10月 7日 (金)	60	大平隣保館
------------	----	-------

・藤岡地域

実施日	出席者 (人)	会場
10月 14日 (金)	49	部屋地区公民館
10月 17日 (月)	68	三鴨地区公民館
10月 19日 (水)	69	藤岡文化会館

・都賀地域

実施日	出席者 (人)	会場
10月 28日 (金)	56	赤津小学校体育館
10月 31日 (月)	78	合戦場小学校体育館

・西方地域

実施日	出席者 (人)	会場
7月 12日 (火)	66	真名子夢ホール
7月 14日 (木)	67	西方総合文化体育館

・岩舟地域

実施日	出席者 (人)	会場
7月 15日 (金)	61	岩舟公民館
7月 19日 (火)	81	静和地区公民館
7月 20日 (水)	78	岩舟健康福祉センター

(2) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見・提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

・受付通数 34通 (提案件数 54件)

(3) 市政メール箱 (電子メール)

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・投書件数 116件

(4) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・投書件数 41件

(5) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

・投書件数 19件

(6) 来庁や電話による市政に関するご意見の受付

・ご意見数 9件

(7) パブリックコメント

重要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、栃木市パブリックコメント手続条例に基づき、パブリックコメ

ント（市民意見提出制度）を実施した。

- ・実施件数 13件

(8) 高校生“夢”トーク～私の考える栃木の未来～

高校生のまちづくりへの関心や理解を深め、関わりたいという高校生のすそ野を広げるとともに、柔軟な発想をまちづくりに生かすことを目的として、市長と高校生のまちづくりについての意見交換会を実施した。

- ・実施日 12月18日（日）

- ・場 所 市役所1階市民スペース

- ・参加者 23人

（事前学習2回 11月6日（日）・11月20日（日））